

各 位

デンカ株式会社
デンカ生研株式会社

皮内投与型インフルエンザワクチンの開発と臨床試験開始のお知らせ

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉高紳介）の主要グループ会社であるデンカ生研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：前田 哲郎、以下「デンカ生研」）は、ワクチン事業の強化・拡大施策の一環として皮内投与型インフルエンザワクチン（以下「本ワクチン」）の開発を決定し、国内での製造販売承認取得に向けた臨床試験を開始しますのでお知らせいたします。

現在国内で販売されているインフルエンザワクチンは、真皮の下にある皮下組織に注射により薬剤を注入する「皮下投与」方式で接種されております。これに対し、表皮と皮下組織の間に薬剤を注入する方式を「皮内投与」と呼び、以下の様なメリットがあるとされております。

- ・皮膚（表皮/真皮）には免疫細胞が多く存在することが知られており、そこに直接ワクチン抗原を届けることで効率の良い免疫の誘導が期待できる。
- ・皮下投与用針に比べ、細く短い針を用いることから、針刺し時の痛みや精神的負担の軽減などが期待できる。

デンカ生研は季節性インフルエンザの予防のため、医療ニーズにマッチしたワクチンの研究開発を進め、本ワクチンの一日も早い上市に向けて研究開発を加速させるとともに、安全性・有効性・利便性に優れたワクチンを実用化することで、我が国の保健衛生の向上と人々の健康の維持増進に努めてまいります。

また、デンカ生研は、生産拠点として新潟県五泉市に新潟工場と鏡田工場を保有し、インフルエンザワクチンに加え、各種検査試薬の事業を展開しております。今般、鏡田工場において新しく検査試薬製造棟を増設し、迅速診断キットの生産能力の増強と、新潟工場内の検査試薬関連設備の鏡田工場への移転・統合による近代化、合理化を進めてまいります。加えて、新潟工場においてワクチン生産への特化と拡充を行うこととあわせて、ワクチン、検査試薬の供給体制の整備と安定的な品質の確保を図ってまいります。

デンカは経営計画「Denka100」に掲げる成長戦略『成長ドライバーへの資源集中と、次世代製品開発』において「健康」分野を重点分野のひとつに挙げ、経営資源の選択と集中を図っています。今後も市場のニーズに的確に応え、課題解決を通じて社会からのご期待にお応えしてまいります。

